

## 原発性アルドステロン症患者さんへの「お知らせ」と「お願い」

当院内分泌糖尿病センターでは原発性アルドステロン症に関して下記の研究を行っていますので、ご協力をお願い申し上げます。

ご不明な点は当院内分泌糖尿病センター 齋藤淳（さいとうじゅん）まで、お問い合わせ頂ければ幸いです。

なお、この研究は当院の倫理委員会の承認を受けて実施されています。

倫理委員会受付番号 29-75

倫理委員会審査日 平成30年3月5日

### 【研究課題名】

原発性アルドステロン症患者における職種別の骨代謝と骨粗鬆症有病率の検討

### 【研究責任者および連絡先】

横浜労災病院 内分泌・糖尿病センター 内分泌内科部長 齋藤 淳

電話番号：045-474-8111（代表）

本研究に関してご質問等がございましたら、上記の連絡先までご連絡ください。

### 【研究概要】

当院では原発性アルドステロン症の方がとても多く診療を受けています。原発性アルドステロン症の方は高血圧を呈し動脈硬化性疾患が生じやすいことが知られていますが、海外では近年になって骨粗鬆症リスクが相加することが示唆されています。

一方で高齢化社会の進行によって日本人の骨粗鬆症リスクも増加しており、骨粗鬆症発症には身体活動が強く影響することも知られています。

そこで日本の原発性アルドステロン症の方も骨粗鬆症リスクが高いのか、骨粗鬆症リスクには仕事や身体活動強度がどのように影響しているのか調査を始めました。

### 【研究の目的】

原発性アルドステロン症の方の骨密度や骨代謝マーカーなどの測定値を用いて骨粗鬆症発症リスクを調査し、さらに職種別の骨粗鬆症発症リスクを評価します。

### 【研究の期間】

2018年横浜労災病院の倫理委員会承認後～2020年3月31日を予定しています。

## 【研究の対象となる患者さん】

2016 年から現在まで原発性アルドステロン症に対して当院で入院診療を受けられた原発性アルドステロン症の患者さん。

## 【研究方法】

原発性アルドステロン症の診断治療目的で受けていただきました様々な血液検査(アルドステロン値や肝機能など)や画像検査(CTや副腎静脈採血など)と臨床情報(身体所見や合併症など)を総合して解析させて頂く研究です。

すでに行いました結果を使用しますので、皆様に改めて検査をお願いすることはありません。皆様の個人情報は匿名化し個人情報管理責任者が厳重に管理し解析使用させていただきます。また研究成績公表の際には、皆様の個人情報が特定できないよう、細心の注意を払います。今回使用させていただきます検査の結果は入院時にすでにご説明しておりますが、ご希望があれば再度結果のご説明をいたします。

また研究計画書をご覧になりたい方は、研究責任者の齋藤淳までご連絡いただければ幸いです。

本公告は、臨床研究に関する倫理指針に則って公開します。

平成 30 年 4 月

## 研究担当者

主任研究者	内分泌内科部長	齋藤 淳
分担研究者	糖尿病内科副部長	鶴谷 悠也
	勤労者予防医療部副部長	杉澤 千穂
	名誉院長	西川 哲男
	内分泌・糖尿病センター	滝口 朋子
	内分泌・糖尿病センター	鈴木 陽彦
	内分泌・糖尿病センター	市川 雄大
	内分泌・糖尿病センター	久保 晴丸
	内分泌・糖尿病センター	洲之内 堯
	内分泌・糖尿病センター	廣瀬 玲
	内分泌・糖尿病センター	三好 建吾
	総務課	末松佐 知子
個人情報管理責任者	内分泌内科部長	齋藤 淳